

るくおん通信

発行日：1990年11月15日

No. 29号

発行者：盲人情報文化センター録音製作

表の読み方例

右の様な表を読むとき、数字はどの様に読みますか。普通、「単位は100万ドル」と言って、数字をそのまま読んでいく方が多いでしょう。マニュアルでは、こんな場合の読み方まで取りあげていません。Aさんは、最初、「単位は100万ドル」と言って、そのまま40.157と読まれましたが、聞く側にすれば、401億5,700万ドルという数字に置き換えるのは大変でしょう。これが仮に、単位は100万ドルでも、2、10、4などと、簡単なものであれば実数はすぐに思い浮かぶでしょうが、万を越えるような複雑な数字の時には、音訳者が実数に置き換えて読み上げる方が親切でしょう。その場合、単位は〇〇と読んだ場合、実数に読み変えることを断わる必要がありますが、単位は〇〇と言わない方法もあるでしょう。

表5 主要国・地域別の製品輸入の推移

(単位：100万ドル、%)

国・地域	製品計		化学製品		機械機器		その他の製品	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
世界計	EE 40,157	▲ 1.1	8,073	▲ 3.3	12,372	2.5	19,713	▲ 2.4
	EE 52,781	31.4	9,733	20.6	14,699	18.8	28,349	43.8
	E7 65,961	25.0	11,845	21.7	19,123	30.1	34,993	23.4
	EE 91,838	39.2	14,830	25.2	26,661	39.4	50,347	43.9
米 国	EE 14,243	1.9	3,396	▲ 9.1	7,545	7.5	3,302	2.7
	EE 17,645	23.9	3,565	5.0	7,830	3.8	6,250	89.3
	E7 17,672	0.2	4,035	13.2	9,075	15.9	4,561	▲ 27.0
	EE 23,540	33.2	4,629	14.7	12,472	37.4	6,439	41.2
EC	EE 7,485	▲ 5.2	2,131	▲ 1.6	2,339	▲ 4.6	3,014	▲ 8.1
	EE 11,956	59.7	2,918	36.9	3,677	57.2	5,361	77.9
	E7 15,145	26.7	3,873	32.7	5,445	48.1	5,828	8.7
	EE 20,770	37.1	5,000	29.1	7,138	31.1	8,632	48.1
アジア	EE 5,234	▲ 1.0	348	▲ 16.0	1,077	1.8	3,809	▲ 0.2
NIES	EE 7,200	37.6	532	52.9	1,475	36.9	5,193	36.3
(3)	E7 11,596	61.1	628	18.0	2,501	69.6	8,467	63.0
	EE 17,047	47.0	820	30.6	3,931	57.2	12,296	45.2
ASEAN	EE 1,853	0.3	306	18.0	343	▲ 19.1	1,204	3.4
(5)	EE 2,086	12.6	425	39.0	400	16.7	1,261	4.7
	E7 3,083	47.8	502	18.0	561	40.3	2,020	60.3
	EE 4,592	48.9	642	28.0	896	59.7	3,054	51.2
中 国	EE 1,751	22.1	302	21.9	18	23.6	1,431	22.1
	EE 1,969	12.5	326	8.1	38	109.0	1,605	12.2
	E7 2,941	49.3	444	36.1	63	66.5	2,433	51.6
	EE 4,641	57.8	619	39.4	150	136.9	3,872	59.1

(注) 伸び率は前年比。▲はマイナス。
 (資料) 大蔵省貿易統計
 (出所) 日本貿易振興会「日本の製品輸入動向1988年」(1989年5月)

<読み方例>

「125頁、表5、主要国・地域別製品輸入の推移、註、伸び率は前年比、資料、大蔵省貿易統計、出所日本貿易振興会「日本の製品輸入動向1988年」1989年5月、説明、表は、縦の項目は国、地域で、世界計、米、EC、アジアNIES (ニイズ) 3、ASEAN (アセア) 5、中国の6項目に分かれています。さらに各項目は、85年86年87年88年の4項目に分かれています。横の項目は、製品計、化学製品、機械機器、その他の製品の4項目に分かれ、各項目は金額、伸び率の2つの項目に分かれています。数値を順に読んでいきます。世界計、85年、製品計、金額401億5700万ドル、伸び率マイナス101%、化学製品、金額、80億7300万ドル、伸び率マイナス3.3%・・・」 * 2項目目からは、「金額」「伸び率」は言わなくてもよいでしょう。

正誤表から……その6

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
熾烈	シキレツ	シレツ	逢瀬	アウセ	オウセ
敷設	シセツ	フセツ	登用	トヨウ	トウヨウ
素地	ソチ	ソジ	間断	マダン	カンダン
極左	ゴクサ	キョクサ	仰臥	オウガ	ギョウガ
多岐	タシ	タキ	脆弱	キジャク	ゼイジャク
漁具	リョウグ	ギョグ	鈍重	ドンチョウ	ドンジュウ
天和	テンワ	テンナ	役務	ヤクム	エキム

大は(オオ)か、(ダイ)か

大地震は(だいじしん)、(おおじしん)? 言葉の前につく「大」という字は(おお)と読むか(だい)と読むかで悩んだことはありませんか。大(ダイ)と読むときは、大富豪、大成功、大繁盛、大音声などのように漢語の上にくる場合が多く、大(材)は、大金持ち、大にぎわい、大声、大いびきなどのように和語の上にくるという区別があるようです。辞書にのってなくて半断に迷う時などの参考にして下さい。もちろん例外もありますので注意しましょう。「大それた」は(ダイそれた) (『日常語面白事典』参照)

要注意、「国際」の付く語

- 1) a. 国際/婦人の地位協会? b. 国際婦人の/地位協会?
- 2) a. 国際/感覚と英語教育? b. 国際感覚と/英語教育?
- 3) a. 国際/凝固・線溶シンポジウム b. 国際凝固/線溶シンポジウム

最近、「国際・・・」という言葉がたくさん出てきていますが、この国際の言葉で最近、読み方の問題が指摘されています。ちょっとした間の取り方で、意味が変わってしまうことになり、正確な音訳とらなくなることとなります。「国際」がどこにかかっている言葉かなども考えながら読む必要があります。今号の3ページの「校正基準について」では、これらの指摘はチェックポイントの3にあたります。

正解 1) a 2) b. 3) a

校正基準について・・・その1

録音製作係 清水賢造

今回から、何回かで校正基準をとりあげていきます。今回発表する校正基準は、日盲社協で発表された校正基準を参考にICCBで独自に作成したものです。ICCBの録音図書づくりにおいては、今後これを校正基準としていきます。校正者だけでなく、音訳者や編集者など録音図書作りに関わるものが共通の認識をしていく為にも、ぜひ全員が目を通してくださるようお願いいたします。また、疑問や意見がある方はどしどし係までお寄せください。

[1]校正のポイントについて

校正のポイントとして、大きく6つに分けました。

1. 録音順序が守られているか
2. 録音の状態は適切か
3. 誤読はないか
4. 聞いて分かる読みになっているか
5. アクセントの間違い
6. 録音図書凡例などに沿っているか、また、処理が統一されているか

などです。この6つのポイントについて校正でチェックできる方が校正者としてふさわしいということになるでしょうが、現実的にはなかなかすべてに渡ってチェックできる方はそういないでしょう。ICCBをはじめ、どこの点字図書館でも校正者の講習会などを実施しているところはありませんので当然ともいえますが・・・。校正の仕事がどこまで要求されているのかもあいまいになっている事が多いため、誤読以外のチェックは校正者の仕事とは思っていない方もあるでしょう。特に、今回ポイントの一つに上げています、4の「聞いて分かる読みになっているか」というのは、漢字の説明、図・表の説明、()などの処理が適切にされていないために、聞いていて分かりにくいときのことです。ここらあたりは理解しにくい点だと思しますので、くわしく例題をあげながら考えていきます。また、それぞれについて例をあげますが、特に3、4、5、6などの例題は、あくまでも例の一つであり、絶対的なものではありません。本の内容、種類、利用者層、前後の文章等などで同じ文章や言葉でもいろいろな処理の仕方がありますので固定化しないようにしてください。くれぐれも例を「絶対的なもの」として扱わないよう前もってお願いしておきます。

次回は、1.の「録音順序」を取り上げます。

リクエスト図書 (音訳者未決定図書)

下記の図書は利用者から依頼されている図書ですが、現在読み手が決まっていない図書です。音訳してもよいと思われる方がありましたら、清水までご連絡ください。次回からはひき受けて頂いたグループ名も紹介します。

『折伏教典』／創価学会教学部編

『慶弔詩歌集』／日本詩吟学院岳風会編

『朗詠集』／日本詩吟学院岳風会編

『あん摩・マッサージ・指圧・鍼・灸・柔道整復受験
ポイントマスター基礎科目編』／医道の日本社編

『あん摩・マッサージ・指圧・鍼・灸 受験ポイントマスター
専門科目編』／医道の日本社編

『昆虫の行動』／高橋正三著

『佐藤の基礎解析』／佐藤恒雄著

『総合問題集数学1. II』／河合塾編

『マーク式総合問題集1. II』 (数学)

／河合塾編

『無功德』44～47／承福寺編

『脚のツボを押せば元気がよみがえる』

／高野豊行著

『点字の手引』／日盲連点字図書館編

『スウェーデンの社会保障』

／社会保障研究所編

『Lisp/MS-DOS版エキスパート
システム構築法』／高橋邦芳著

編集後記 録音は孤独で地味な仕事です。あなたのマイクも淋しがりやいませんか。今一度マイクの位置を確かめて下さい。一生けん命のあまり、本と目が近づいて、頭と仲良くなっているマイク。遙かかなたスタジオの隅高くに位置しているマイク。斜め横に向いているマイク。録音者それぞれの工夫のようですが、マイク自体は指向性です。前からくる音を正しくひろいます。だから自分の出す雑音 — ページを繰る音、イスの音、 — などもひろってしまいます。録音の時はおクチと正面の位置で。音の大小はマイクとの距離で調整しましょう。マイクが正面にきておクチの音が気になる方は、録音前に声のウォーミングアップを！ ウガイをなさるのも一つの方法といえましょう。

朝の挨拶は、アエイウエオアオで。

(藤堂)